

# 兵庫県学生献血推進協議会

若年層に献血を

# FOCUS

## 追いかける。大学生。

近年減少傾向にある献血者数。特に10代から20代の若者層の献血者の減少が深刻化している。今回は学生を中心に献血を呼びかけている、兵庫県学生献血推進協議会会長の柘田文沙さん(神戸薬大・2年)と副会長の川南愛さん(神戸市看護大・2年)に話を聞いた。

# 若者に広がれ 献血の輪



近畿統一献血キャンペーンの様子(提供=兵庫県赤十字血液センター)

兵庫県学生献血推進協議会のメンバーは、若年層の献血に対する関心の無さを目の当たりにした。「興味が無い」、「時間がない」。部員の友人を中心に献血に対しての意識調査を行ったが、献血に対する意識の低さが結果に色濃く表れた。

兵庫県内18大学の約1000人の学生によって組織される団体。全国規模の学生献血推進協議会の兵庫支部として若年層を中心に献血を呼びかけている。活動は主に年に5回程行われる献血キャンペーン、春と秋に開催される献血についての勉強会などだ。

団体は今年で14年目に突入。目標を「新規ドナーを増やす」と決めた。昨年以上に献血未経験の人に献血の重要性を伝え、献血への一歩を踏み出してもらうことに力を入れている。

最近では、献血した人に兵庫県の名産品を配ったり、写真を添えてフェイスブックで紹介したりするなど、献血した人とのふれあいも大切にしている。献血推進の気運は広がっている。9月17日には、近畿の2府4県の学生献血推進協議会が集まり、共同で近畿統一献血キャンペーンを開催した。そこでは、キャンペーンを通してそれぞれの支部での活動などを知る機会を得る事も出来る。こうしたさまざまなイベントに参加することで、献血の大切さを知るとともに他の支部との交流も深めている。



柘田文沙さん



川南愛さん

分たちの言葉で献血の重要性を伝えるか、試行錯誤しながら呼びかけを続けている。12月には三宮でクリスマス献血キャンペーンも行われる予定だ。新規ドナー増加のためには、まず若年層が献血の重要性を知り、献血の輪を広げていく必要がある。「献血は今だけではなく将来につながる。実際に来てみて、自分でその重要性に触れてほしい」と柘田さんは語った。(聞き手=森桜子)

☆興味のある方はこちらまで  
→ [hyogogakusui2012@yahoo.co.jp](mailto:hyogogakusui2012@yahoo.co.jp)

## UNN関西学生報道連盟

配信・発行 (C) UNN 関西学生報道連盟 (公式HP) <http://www.unn-news.com/>

共同編集室 〒532-0011 大阪市淀川区西中島4-2-24 ダイニホンビル4F

(TEL) 06-6307-1315 (FAX) 06-6829-6353 (MAIL) [info@unn-news.com](mailto:info@unn-news.com)

FOCUSは

神戸大学ニュースネット委員会  
同志社大学 PRESS 編集部  
NEWS 立命通信社  
関学新月通信社  
大阪大学 POST 編集部

関西大学タイムス編集部  
神戸女学院大学 K.C.Press 編集部  
京都女子大学藤花通信編集部  
京都大学 EXPRESS 編集部

の共同編集による週刊フリーペーパーです